記者発表資料

平成 25 年 10 月 23 日
国土交通省 東北地方整備局
秋 田 河 川 国 道 事 務 所

角館国道維持出張所の除雪出動式について

本格的な冬の到来に向け、国道46号を管理する角館国道維持出張所では、冬期間における道路利用者の安全と円滑な道路交通の確保を目的に除雪作業を行います。
これに伴い、**「除雪出動式」**を開催し、併せて、これまで除雪作業に従事された方々への**「除雪従事功労者表彰」**を執り行います。
この冬の除雪作業に対する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

＜国道４６号　角館国道維持出張所管内について＞

■除雪区間
〇岩手県雫石町大字橋場字竜川国有林 ～ 大仙市協和境字岸舘　　延長 61.0km

■降雪の特徴
〇秋田県内でも有数な豪雪地帯
〇年間の累加降雪量は過去10年平均で約600cmに対し**昨年度は８８３ｃｍを記録**
（仙岩除雪ステーション観測）

■除雪作業の内容
〇新雪除雪、拡幅除雪、拡幅除雪、運搬排雪、凍結抑制剤散布、歩道除雪、人力除雪
※他に豪雪地帯ならではの作業
- **橋梁、法面、トンネル等の構造物雪庇処理作業**
- **道路のり面の雪庇処理作業**
- **雪崩防止柵の堆雪ポケット排雪作業**
- **標識等の道路附属物雪庇処理作業**

＜除雪出動式について＞

■ 開 催 月 日　　平成25年10月29日（火）

■ 会　　場　　角館防災ステーション（仙北市角館町小勝田前田）

■ 開 始 時 間　　安 全 祈 願 祭　　14時30分～　　※安全祈願祭は除雪受注業者主催

除 雪 出 動 式　　15時00分～　　※除雪従事者功労者表彰
※除雪機械出動デモ
・報道関係者の除雪機械試乗も準備しております。

除雪従事功労者表彰：除雪作業に従事し、冬期道路交通の確保に貢献したことが顕著である除雪ステーションで働く全ての人を対象に、永年に渡る苦労に報いることを目的としております。

≪発表記者会≫ 秋田県政記者会

問い合わせ先		
国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所		
道路管理第二課長	齊藤（さいとう） 正志（まさし）	電話:018-823-4167
角館国道維持出張所長	半田（はんだ） 清美（きよみ）	電話:0187-54-3181

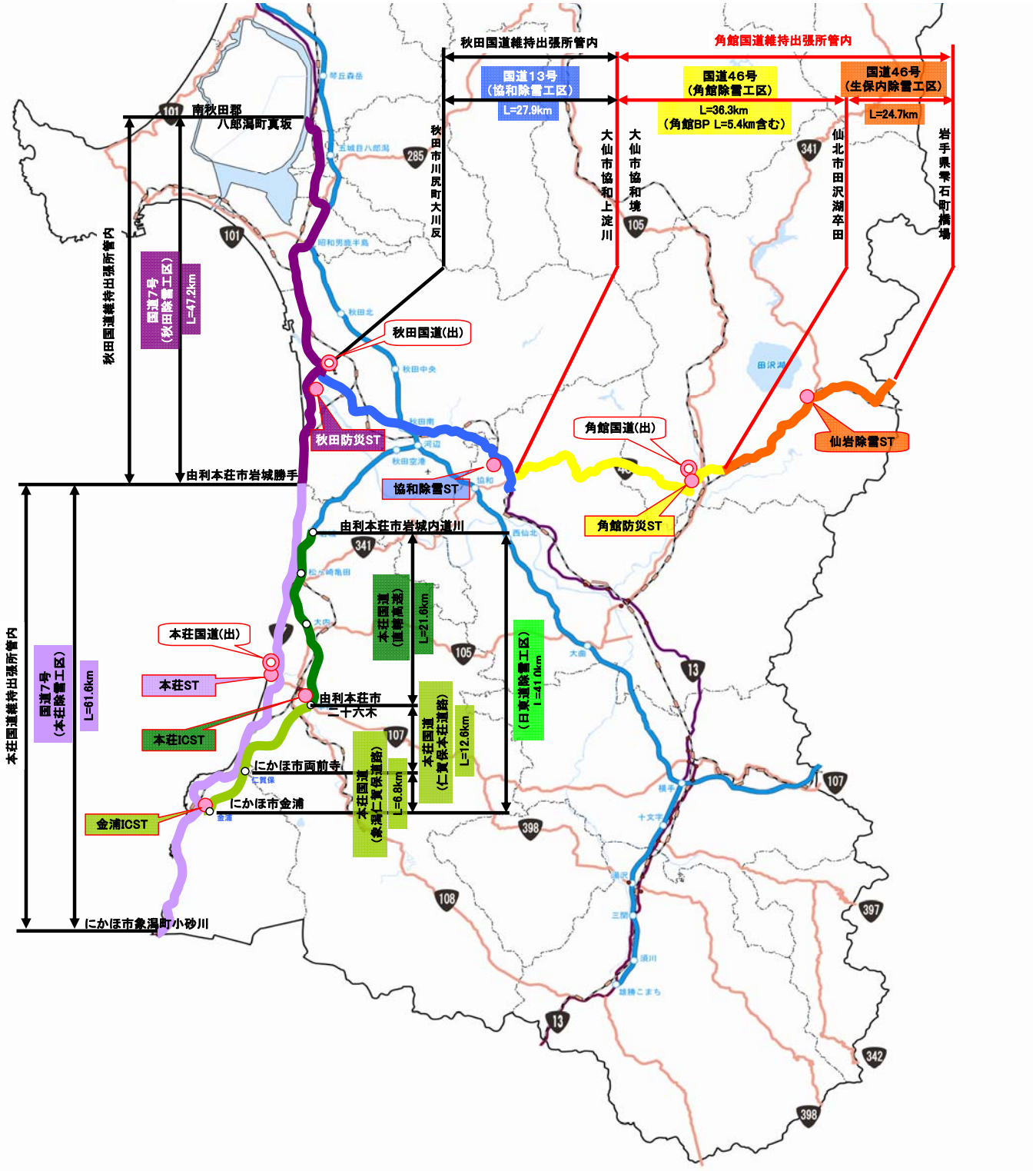
■参考資料①

秋田河川国道事務所　除雪工区位置図

■平成25年度　除雪機械配置状況

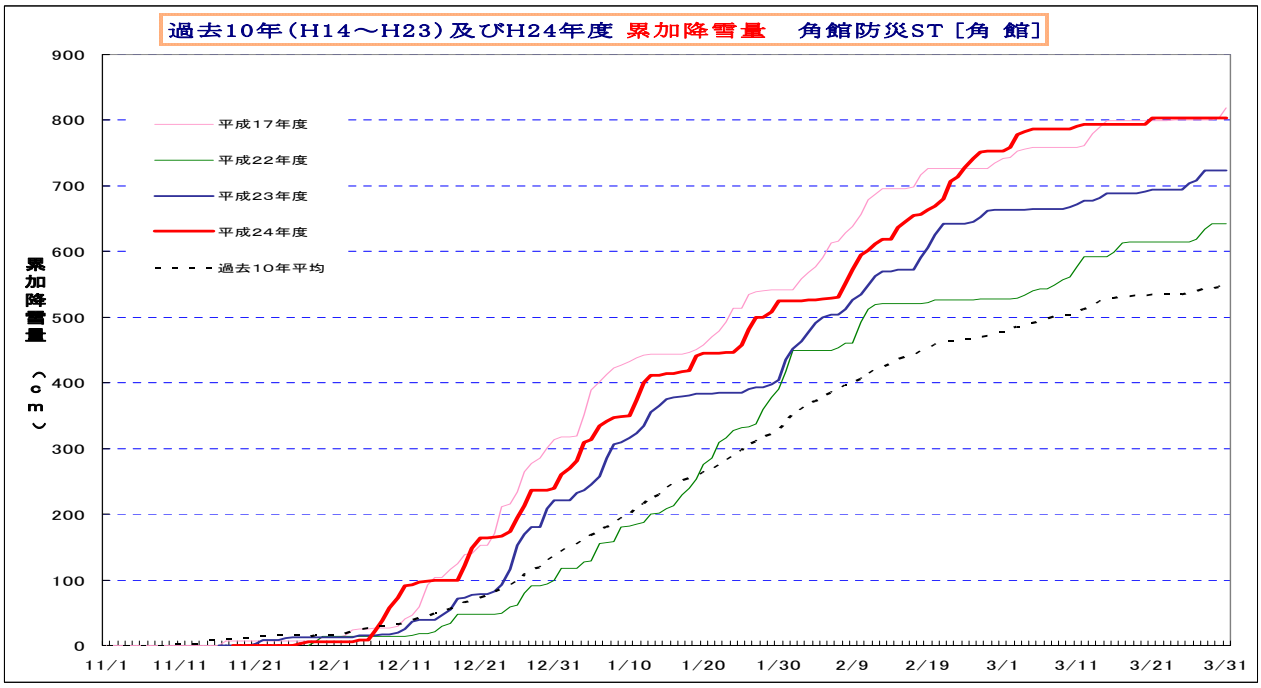
機械名	本荘国道		秋田国道		角館国道		計
	日東道工区	7号工区	7号工区	13号工区	角館工区	生保内工区	
除雪トラック	2	1	2	2	2	1	15台
除雪トラック（薬剤散布装置付き）	4	1					
除雪グレーダ		3	5	3	2	3	16台
ロータリ除雪車	1			1	1	1	4台
小形除雪車		4	3	5	5	2	19台
小形除雪機（ハンドガイド）		4	3	2	1	3	13台
除雪ドーザ					1		1台
凍結抑制剤散布車		2	2	2	1	1	8台
計	7台	15台	15台	15台	13台	11台	76台
	22台		30台		24台		

角館国道維持出張所

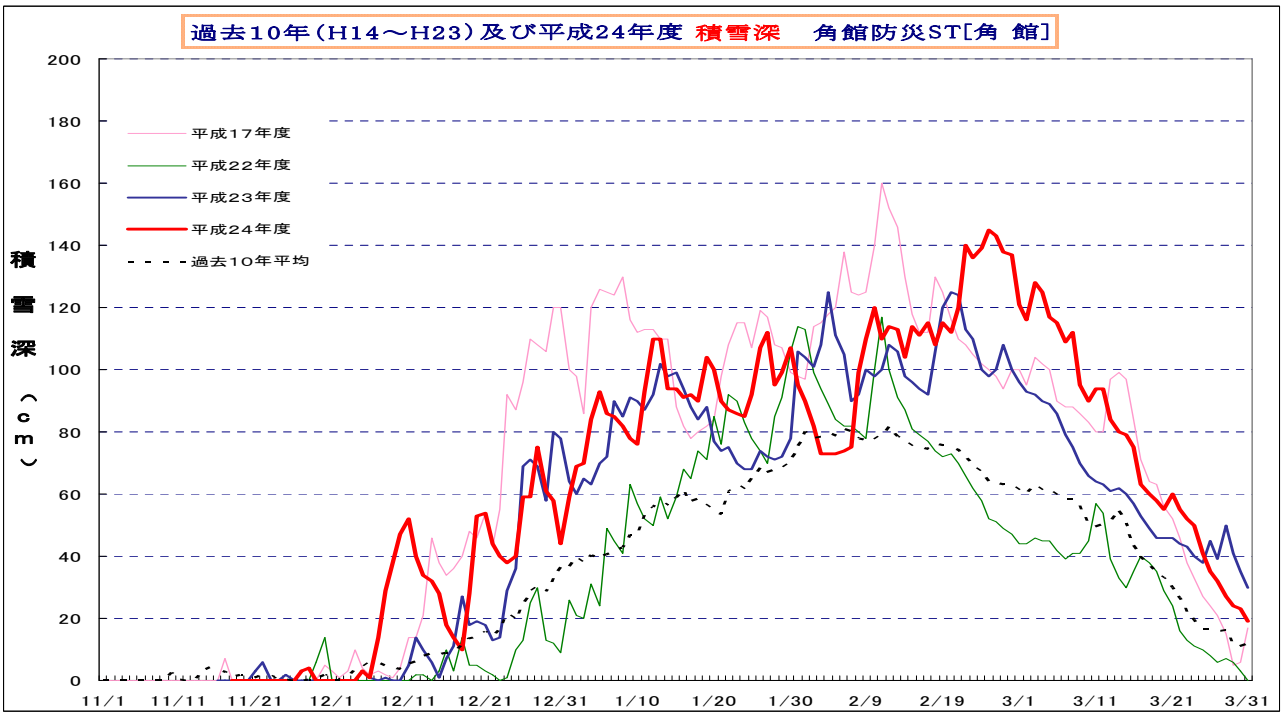


角館地区は３年連続の大雪

○累加降雪量はH17豪雪と同程度

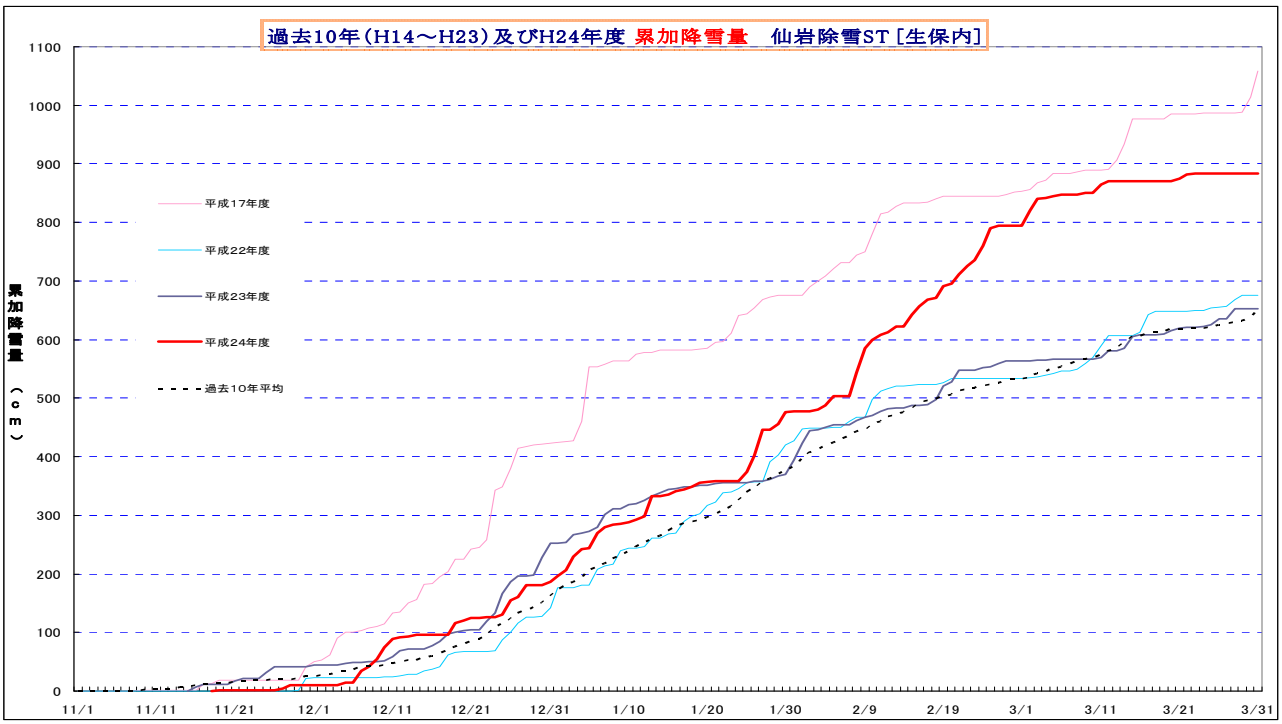


○最大積雪深はH17豪雪に次ぐ145cm

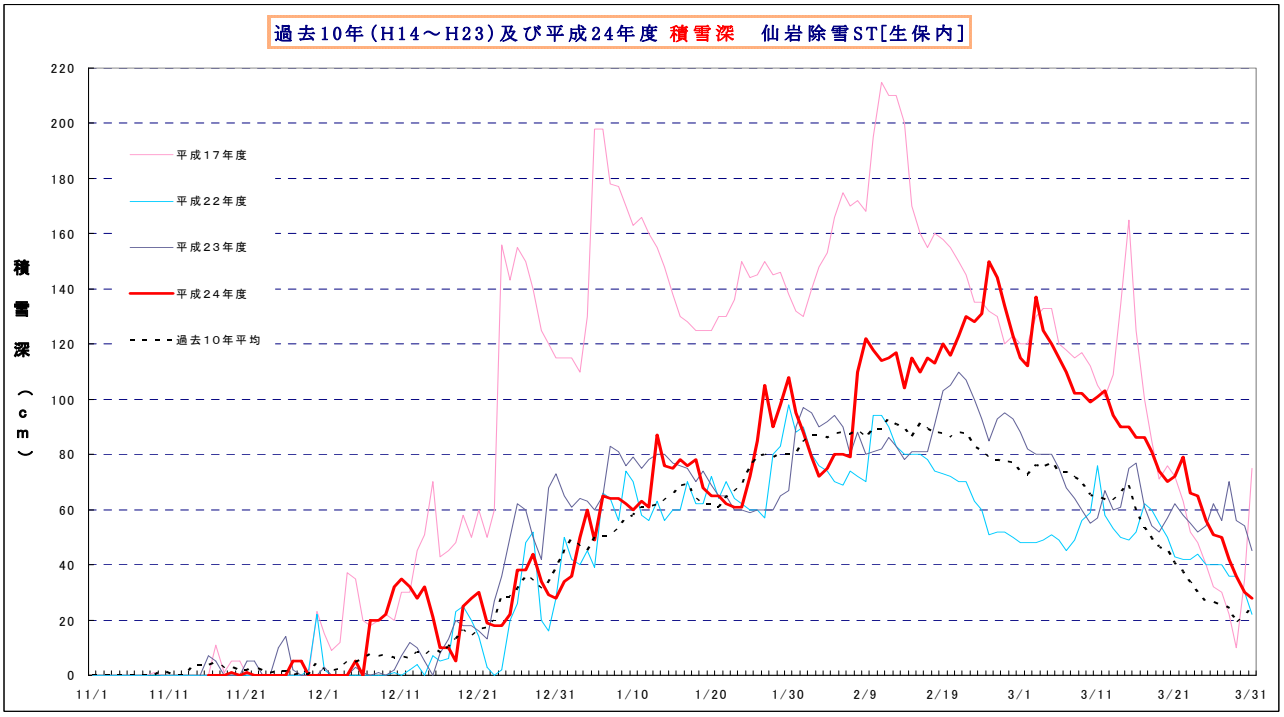


生保内地区は平年を上回る大雪

○累加降雪量はH17豪雪に次ぐ883cm



○最大積雪深は平年を上回る150cm



一般的な除雪作業の種類

▽　新雪除雪



▽　拡幅除雪



▽　運搬排雪



▽　凍結抑制剤散布



▽　歩道除雪



▽　人力除雪



角館国道管内の除雪の特徴（その１）

▽　橋梁雪庇処理作業



▽　法面雪庇処理作業



▽　橋梁雪庇処理作業（近景）



▽　法面雪庇処理作業（近景）



▽　トンネル坑口部の除雪



▽　トンネル坑門部の雪庇処理



角館国道管内の除雪の特徴（その２）

▽　雪崩防止柵のポケット確保



▽　雪崩防止柵のポケット確保



▽　人力による雪庇処理



▽　JR並行区間の除雪



▽　標識の雪庇処理



スタック車両対策

○スタック車の状況

▽　スタック車



▽　スタック車



○スタック車対策

▽　交通安全協会等と一体となった冬タイヤの早期装着広報活動



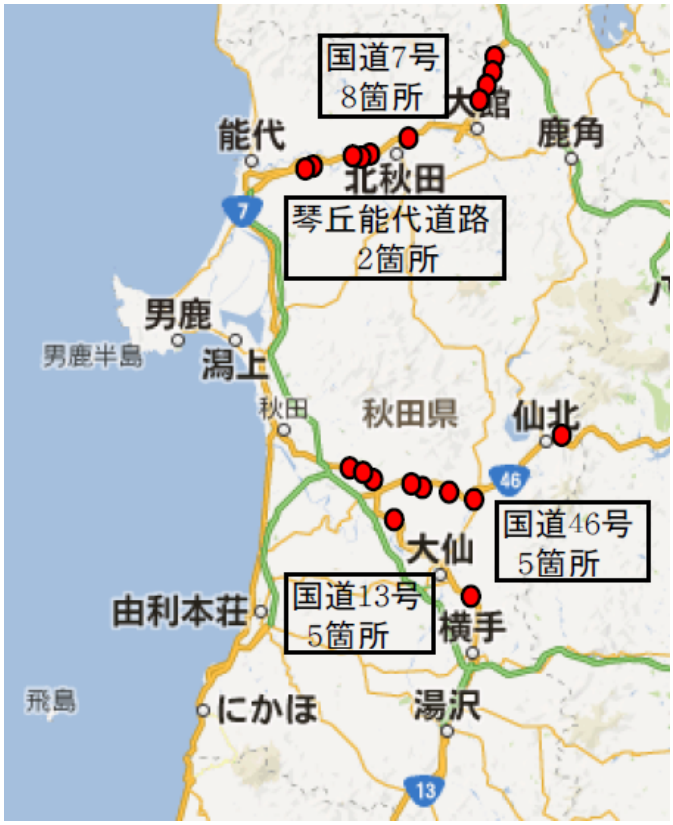




融雪期における有識者との合同雪崩点検

（平成24年度の実施内容）

○点検箇所



○調　査　日　：
平成25年2月21日（木）～22日（金）

○調査箇所　：　国道7号（8箇所）、
国道13号（5箇所）、
国道46号（5箇所）、
琴丘能代道路（2箇所）

○点検方法　：
防災科学技術研究所
雪氷防災研究センター 2名
及び国交省職員による目視点検

○点検状況　：



○点検後の対応

▽　点検時の雪庇状況



▽　雪庇処理後の状況

